

宮崎総合農試ニュース

2015年11月18日

イチゴの早期出荷を目指した新作型の検討を行っています

当試験場・野菜部では、四季成り性イチゴ「みやざきなつはるか」を用い、早期出荷を目的とした新作型の検討を行っています。一般的に9月中旬に定植して、11月から収穫が始まる促成作型のイチゴに対し、この作型では、8月中旬に定植し10月からの収穫を目標としており、本年度は10月中旬から本格的な収穫が始まっています。

四季成り性品種を用いて、早期出荷を目指すためには、電照をうまく活用することがポイントになります。野菜部では、今後とも新作型における栽培技術の確立に取り組んでいきます。



「みやざきなつはるか」の生育状況
(撮影日：左 10月30日、右 11月3日)

問合せ先 宮崎県総合農業試験場 野菜部

〒 880-0212 宮崎県宮崎市佐土原町下那珂5805番地

TEL 0985-73-2332 FAX 0985-73-2127

<http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/nosei/mae-station/sogonogyoshikenjo@pref.miyazaki.lg.jp>